

# FMとよみ「110番の家」に



## 豊見城署が委嘱状交付

池村署長(左)から委嘱状を受け取るFMとよみの安慶名社長＝豊見城署

【豊見城】豊見城署(池村松雄署長)は7日、市のコミュニティ放送局FMとよみ(安慶名雅明社長)に「子ども

も110番の家」と「防犯ボランティア団体」の委嘱状を交付した。安慶名社長は「子どもたちが地域を守り、豊見

城を日本一安全な地域にした」と抱負を語った。

「子ども110番の家」は事件・事故など緊急時に子どもたちが駆け込める避難場所。管内では504件目となり、「防犯ボランティア団体」としては73件目となった。

委嘱状交付式とともに「防犯パトロール隊・見守り隊」の出発式も行われ、池村署長が「皆さんと力を合わせて安全・安心な町になるよう力を尽くしたい」とあいさつ。

小緑・豊見城地区防犯協会の嘉手納良一会長をはじめ参加した自主防犯ボランティアら約130人に見送られ、防犯パトロールへ向かった。

# 安全地域へ各地で取り組み

## 防犯パトロール隊 豊見城出発

【豊見城】豊見城署は七日、防犯パトロール隊



・見守り隊の出発式を開き、自主防犯ボランティアら約百人が参加した。新学期を迎え地域、行政、各団体が連携を密にして少年の非行防止と犯罪を抑止することが目的。出発式では豊見城市のコミュニティFM「FMとよみ」に、こども110番の家と防犯ボランティア団体の委嘱状も交付された。

FMとよみ代表の安慶名雅明さんは「放送以外にもできることがないか相談し、委嘱を受けた。豊見城を日本一安全な地域にしていきたい」と決意表明した。

出発式後、青色回転灯をつけた車両が署から出発した。写真。